



# 国府台女子学院 小学部だより

市川市菅野3-24-1

Te l 047-322-5644

F a x 047-322-5655

<https://www.konodai-gs.ac.jp/>

2022年3月号

## 進学、進級に向けて

### ～ 準備万端ですか？～

早いもので、学年の最後の月となりました。学校における師走ともいえる3月は、「まとめ」「準備」とあわただしさが極まります。

「まとめ」については、先ず学習面です。リモートで学習を進めている児童を含めて、1学期からの教科書等を使いながら、丁寧に進めて、十分でないと思うところは、しっかりと復習をしてもらいたいと思います。

次に生活面です。引き続き新型コロナウイルスの感染防止のためのまん延防止策が継続中です。若干感染者数の数値は下がってきましたが、油断は禁物です。元気に進級できるように子供たち自身もご家族のみなさんも健康管理をよろしくお願いいたします。

「準備」については、「明日いい仕事をするための最良の準備は、今日いい仕事することだ」という言葉を、米国の作家エルバート・ハーバードさんが残しています。進学、進級に向けての準備は、春休みにすればいいかなと思っていることがあれば、今日が大事なんだと、気持ちを切り替えてもらえるとよいと思います。

特に、得意な分野、関心が高いジャンルについては、さらに練習や研究を重ねて、準備による自信を持って進級してもらいたいと思います。



## 3月行事予定 (ハーバード氏)

5日	6年生を送る会(放送)	17日	卒業式予行
8日	短縮日課開始 委員会(4時間目)	18日	卒業式
9日	6年生お別れ会	19日	終業式(放送)
12日	休業日	20日	春休み
14日	成績会議 (児童自宅学習)	21日	春分の日
		※ 4月2日	始業式
		※ 4月3日	入学式



## 1年生 たこあげ

2月18日、25日に1年生は生活科の学習でたこあげをしました。初めての経験という子供たちもいましたが、



「たこと一緒に飛んでいきそうだ。」という声も上がり、風の力を感じたり、遊びの歴史に触れたりしながら、昔遊びを堪能できました。

たこあげの歴史は古く、紀元前からといわれています。日本へは中国から伝わったようですが、「立春の季に空に向くは養生の一つ」といわれ、この季節にたこあげをするのは縁起がよいといわれています。

## おひな様

今年も小学部の1階階段前に、おひな様が飾られました。子供たちの健やかな成長を願って、心を込めて職員で飾りました。17日の大安に飾りましたが、翌日の朝の子供たちの反応は、「きれい」「すごい」と、職員みんなからお祝いされていることを、肌で感じ取ったようです。ある子は、「うちではつるし雛も飾ってみましたよ。」と教えてくれました。

今はいろいろなタイプのおひな様がありますが、形は変われどお祝いの気持ちはみな一緒です。



## 今月の目標

「新型コロナウイルスに感染しないように、健康に気をつけましょう」  
「整理整頓をし、1年間のまとめをしましょう」

## お彼岸

3月21日は春分の日、お彼岸です。「暑さ寒さも彼岸まで」といわれるように、一年中で最も過ごしやすい季節となるのが春秋の彼岸の頃です。

本来は、1年365日の毎日が「お彼岸」すなわち、「悟りの世界」へ渡るための修業をするべき日でした。しかし、どうもそれには耐えられそうもないから、それならせめて1年中で修業のしやすい季節だけやってみよう、ということから1年に2回春と秋にお彼岸をすることになったと考えられます。

ですから、春分と秋分を中心とした前後の7日間は施しをし、生き物を大切にし、腹を立てず、心静めていきたいですね。正しく世の中を見つめるような努力をする何よりの機会といえるのです。



## ちょっとうれしい話

～ 3.11を前に 防災訓練 ご近所のコミュニケーション～

今年もまた3月11日が近づいてきました。あの大地震の反省は何度でも振り返っておかなければなりません。最近も、全国で地震や火山活動の活発化の報道が流されていますが、事前の防災の備えにし過ぎはないといわれますので、改めてご家庭において話題にあげていただければと思います。

2月25日に、児童には事前に伝えずに防災訓練を実施しました。今回も密を避けるために校庭で全員が集まることはできませんでしたが、災害から身を守るためにどうしたらよいかということで、DVDを視聴しました。

その後、ある子が、防災用品の点検をして不足している物を買うために、お隣の方と出かけましたと教えてくれました。ご近所のコミュニケーションで安否確認ができ、命を救うこともありますので、防災に関してご近所で話題が共有できることは、お子様にとっても大切なことだと思います。このような機会を作られたことは素晴らしいことだと思います。

